

スライドカンファレンス

症例2

大分大学医学部診断病理学講座

川村 和弘

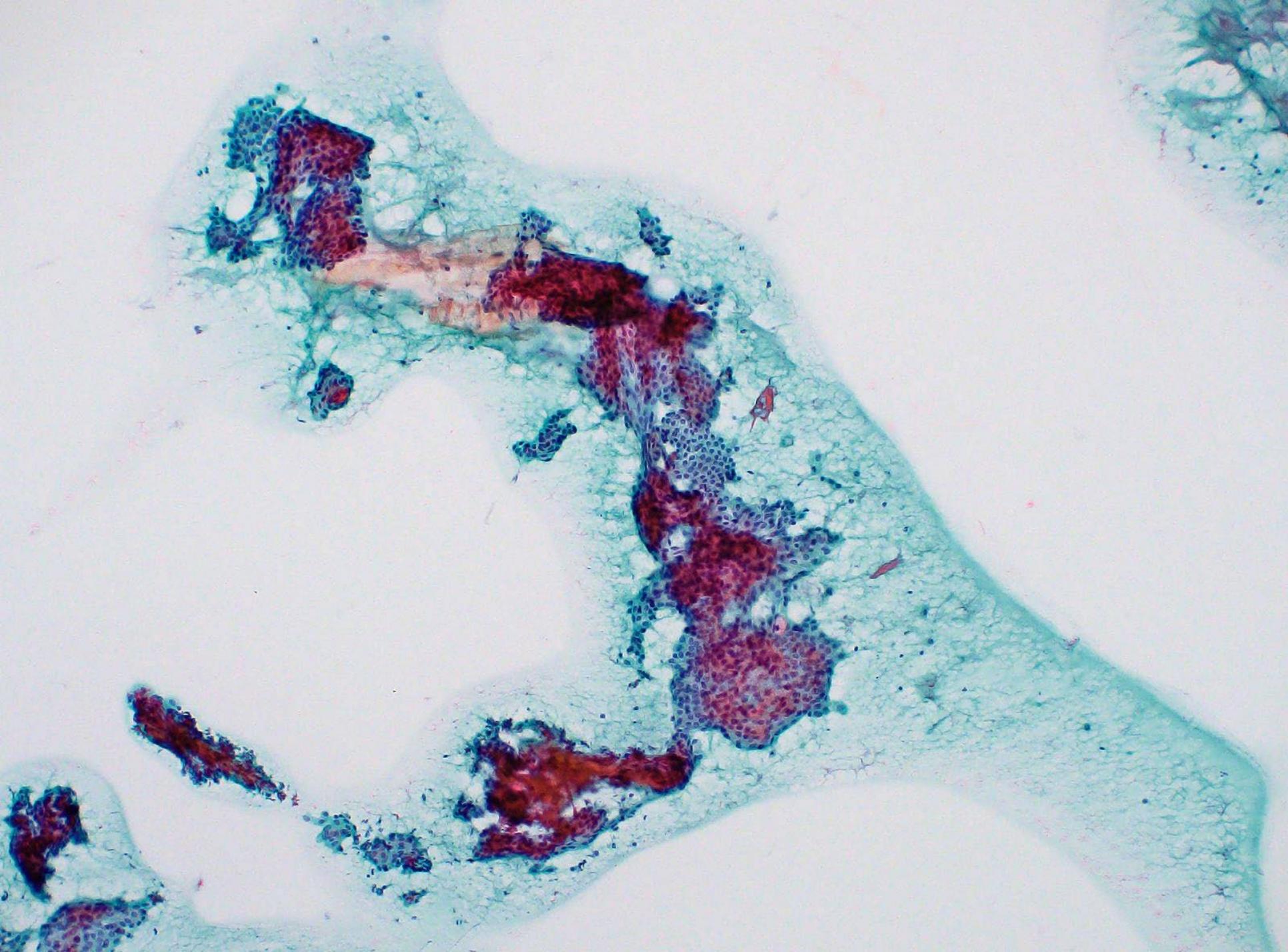
症例

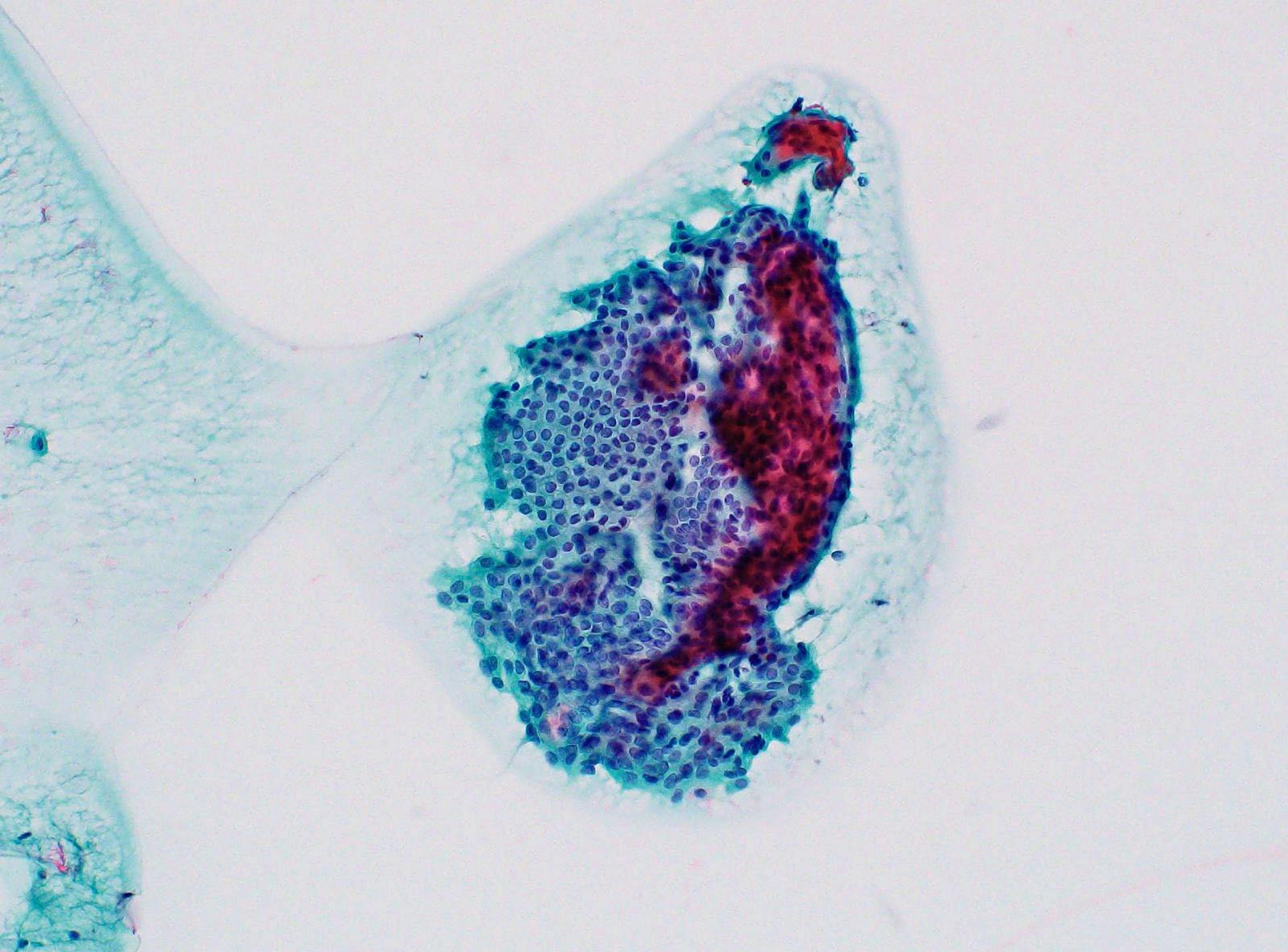
患者： 20歳代 女性

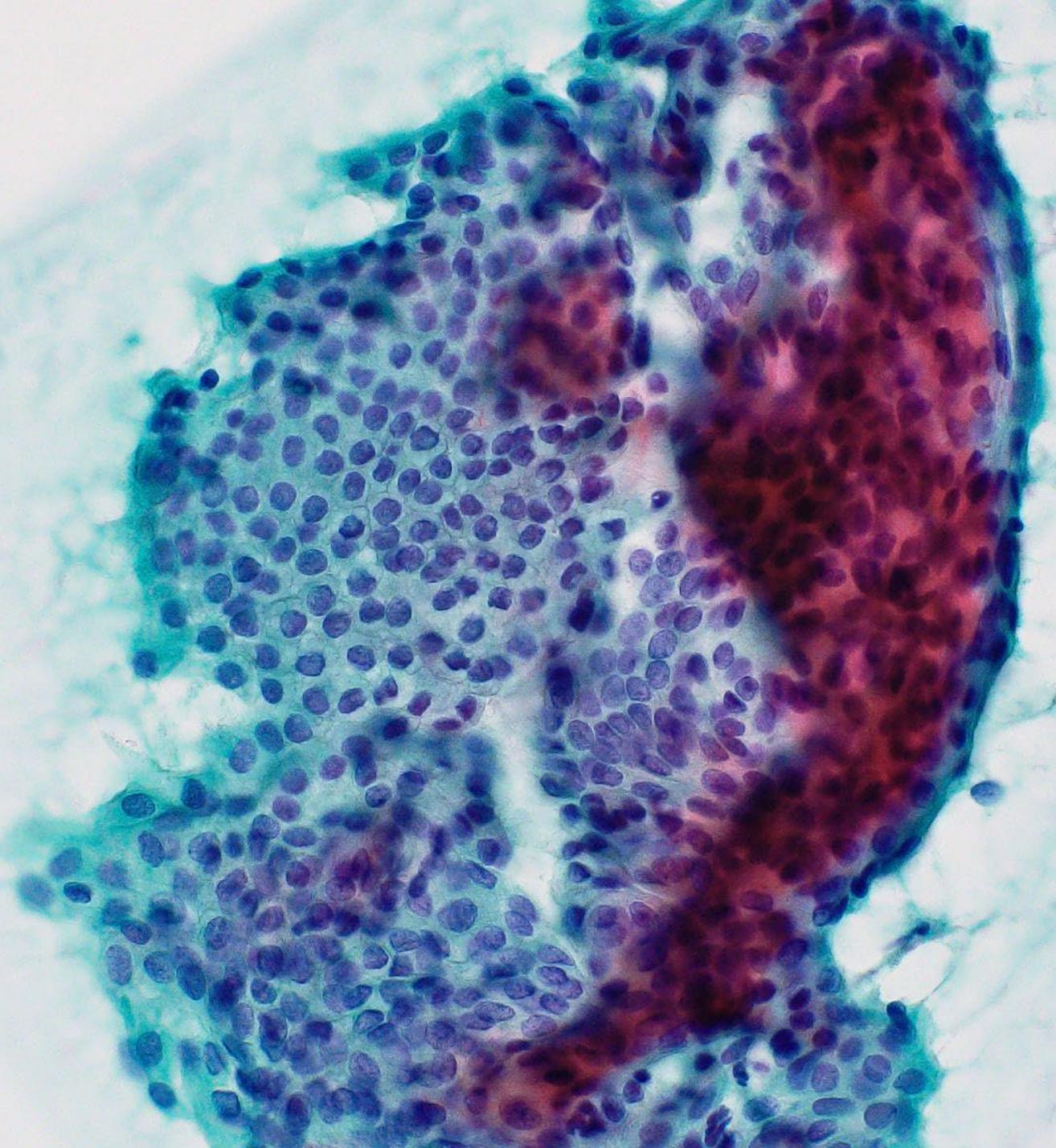
検体： 硬口蓋（穿刺吸引細胞診）

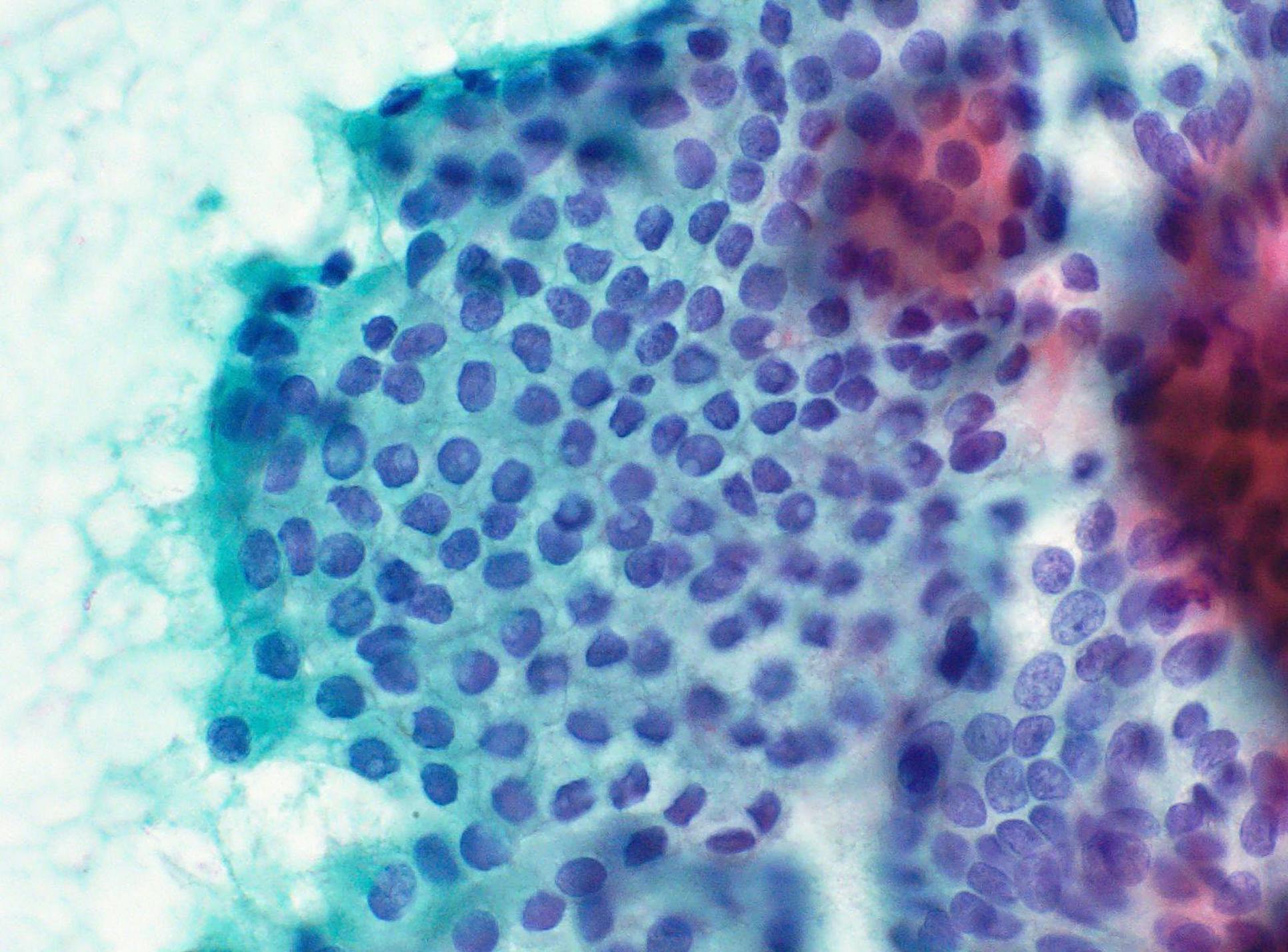
現病歴：

8年前より右硬口蓋に腫脹があり、増悪すると自壊し、
排液後に軽快を繰り返していた。CTでは硬口蓋に一部
骨融解を伴う内部充実性、不均一な腫瘤を認めた。加療
目的に当院耳鼻咽喉科を紹介受診となり、FNAが施行さ
れた。

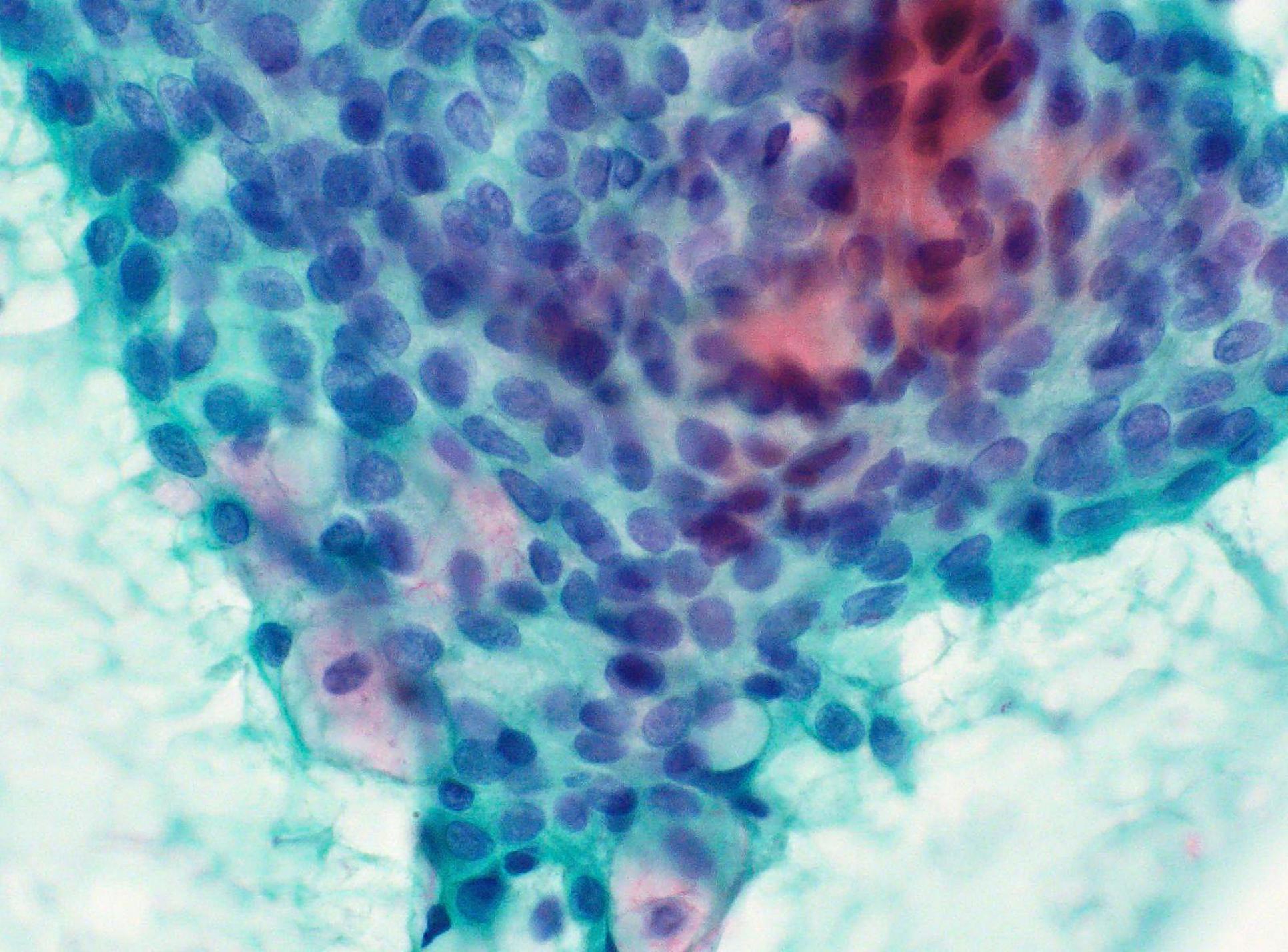












選折肢：

1. 壞死性唾液腺化生
2. 多形腺腫
3. 基底細胞腺種
4. 粘表皮癌
5. 分泌癌